

平成 28 年 11 月

平成 28 年度文部科学省補助事業

『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会 実施要項（案）

【目 的】

近年、我が国の青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年者による喫煙や飲酒ならびに薬物乱用も課題の一つであり、とりわけ薬物乱用においては、危険ドラッグの登場や、他の薬物乱用者が減少傾向にある一方で、向精神薬の乱用が増加傾向であることから学校等における指導・教育のさらなる充実強化が求められている。日本学校保健会では文部科学省の補助を受け、平成 20 年から平成 21 年にかけての学習指導要領改訂に基づき『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を改訂、全国の学校へ配付した。平成 25 年 8 月 7 日に文部科学省 薬物乱用対策推進会議において「第四次薬物乱用防止五か年戦略」が決定したことを踏まえ、『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を有効に活用できるよう本研修会を実施する。

主催：公益財団法人日本学校保健会

共催：京都市教育委員会 京都市学校保健会（いずれも申請中）

1 日 時：平成 29 年 1 月 20 日（金）開場 13 時 開演 13 時 20 分 終了 16 時 45 分

2 会 場：京都市総合教育センター 4 階「永松記念ホール」

（京都市下京区河原町通仏光寺西入）

3 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）

4 参加費：無料

5 募集定員：350 人（申込先着順、定員になり次第締切）

6 内 容

（1）趣旨説明

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

（2）講義 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方

東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦（前文部科学省学校健康教育課健康教育調査官）

（3）特別講演 身近に迫る薬物乱用：最近の大麻問題を考える

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部・依存性薬物研究室 室長 船田正彦

（4）実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～
公益財団法人 日本学校保健会 事務局長 並木 茂夫

13:00 13:20 13:30 14:00 14:50 15:00 15:50 16:40 16:45

開場	開演	開会 行事	趣旨 説明	講義	休 憩	特別講演	実践 発表	質疑 応答
----	----	----------	----------	----	--------	------	----------	----------

7 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込